

概要:

2チャンネル・スペアナの特長である2項目同時測定の制御方法を紹介します。また、単独チャンネルで測定した場合と測定時間の比較もできます。
その他、CH1, CH2の制御サンプルがあり、設定モードにより画面が変化する様子が分かります。

測定項目:

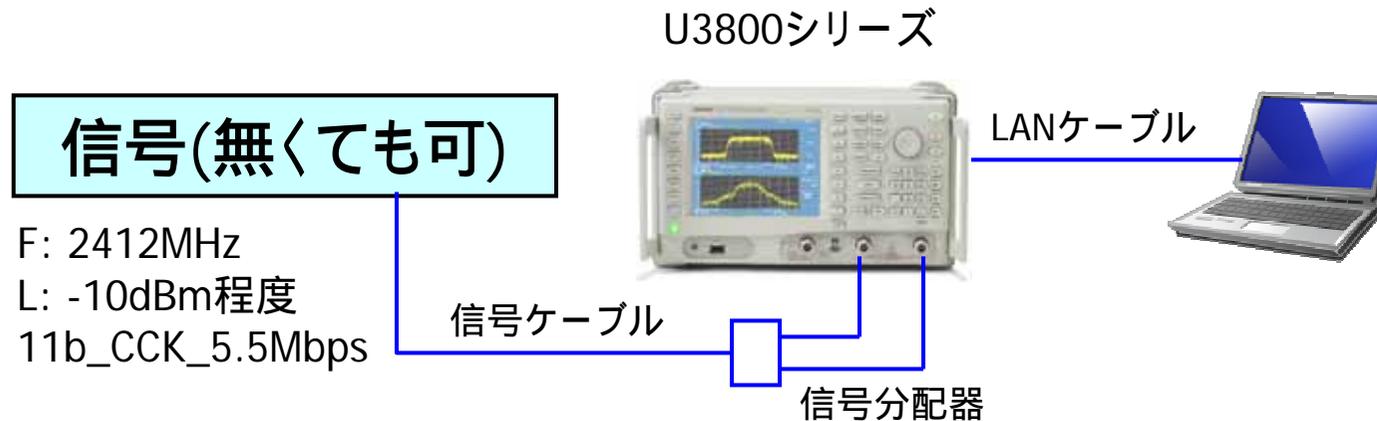
Telecの高度化小電力データ通信システム(WLAN)測定を参照にしています。(用途により修正して下さい)

測定方法:

周波数と掃引時間の指定を行う。掃引時間はバースト信号のため、1secの初期設定としています。
(アナログ・スペアナ・モードの測定)

2. U3800 LAN_1ch2ch 接続概要図

ADVANTEST®



1. 信号源(WLAN:11b_CCK_5.5Mbps)を接続します。
(信号が無くてもソフトウェアは動作します)
2. 複数項目組合せ測定(モード)と単独項目測定で
測定時間が比較できます。
(チャンネルパワーの高確度、高安定性も確認)
3. CH1,CH2の測定(画面)モードを確認できます。

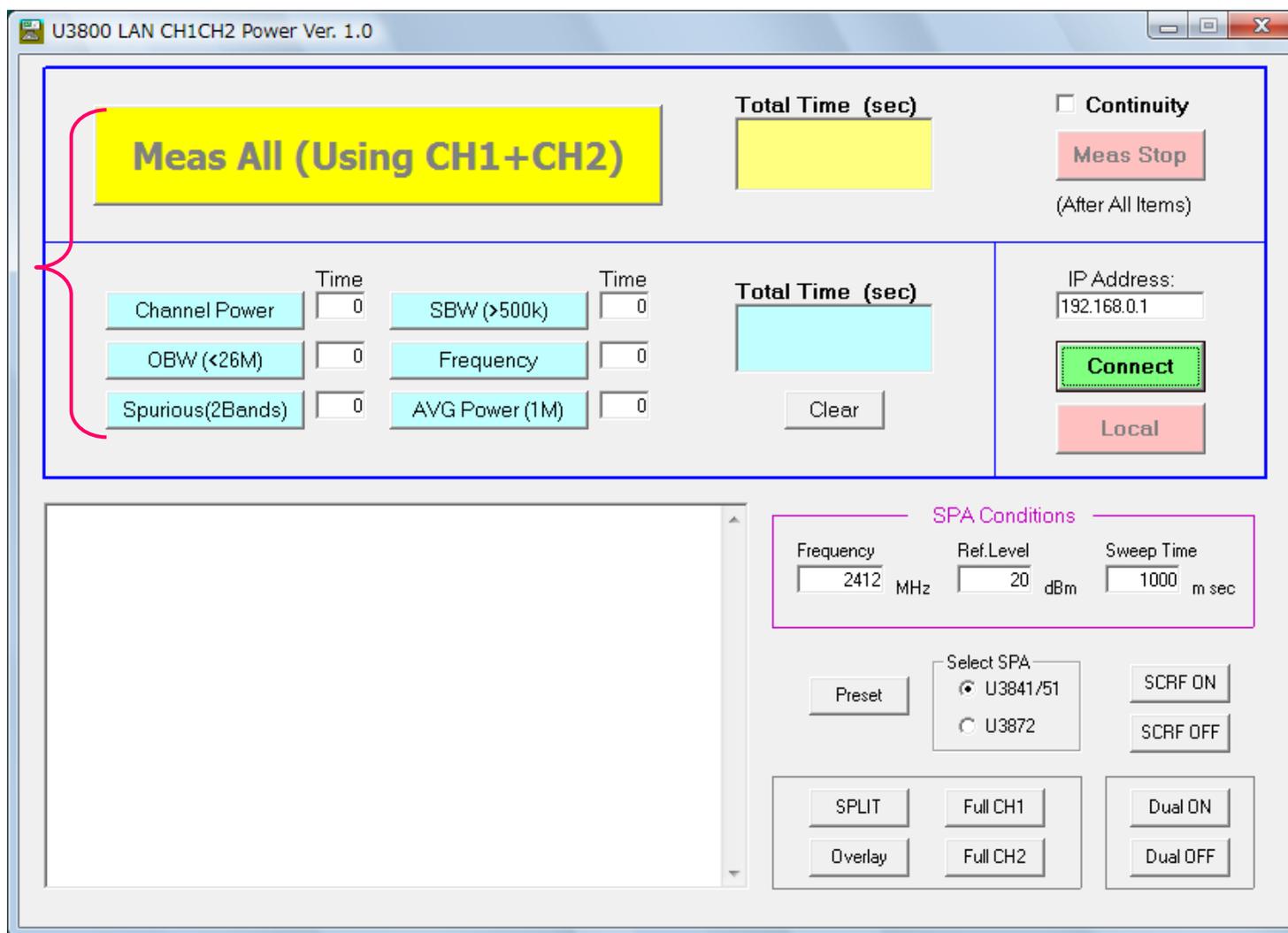
3. 測定順序とパネルイメージ

サンプル・ソフトの起動

IPアドレス確認

コネクト

測定



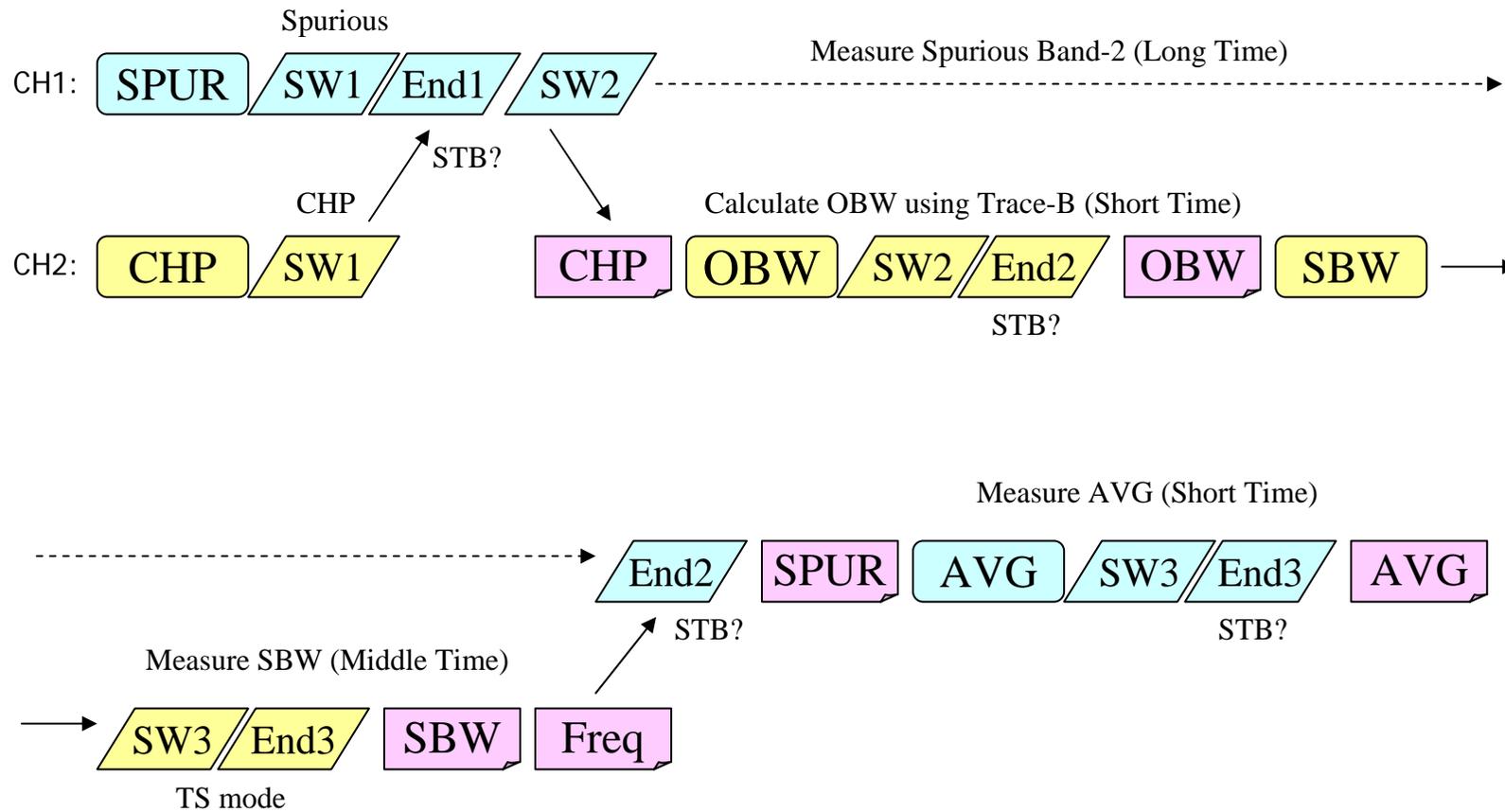
起動と測定:

1. アプリソフトの実行(スタートより U3800 LAN_CH1CH2 を選択し実行)
2. IP Addressを確認または変更します。(デフォルトは192.168.0.1)
3. Connectボタンを押すとスペアナと接続されます。
4. 必要によりスペアナの初期設定を行います。(U3841/51,U3872を選択)
5. 大きなキー(Meas All)で一括測定、または小さなキーで個別測定をします。
6. それぞれの測定時間が確認できます。(個別測定は個別時間も表示)
7. 測定時間はスペアナ等の状態で少し違いますので何回か行います。
8. 終了はLocalを押しウィンドウを閉じます。

その他のキー:

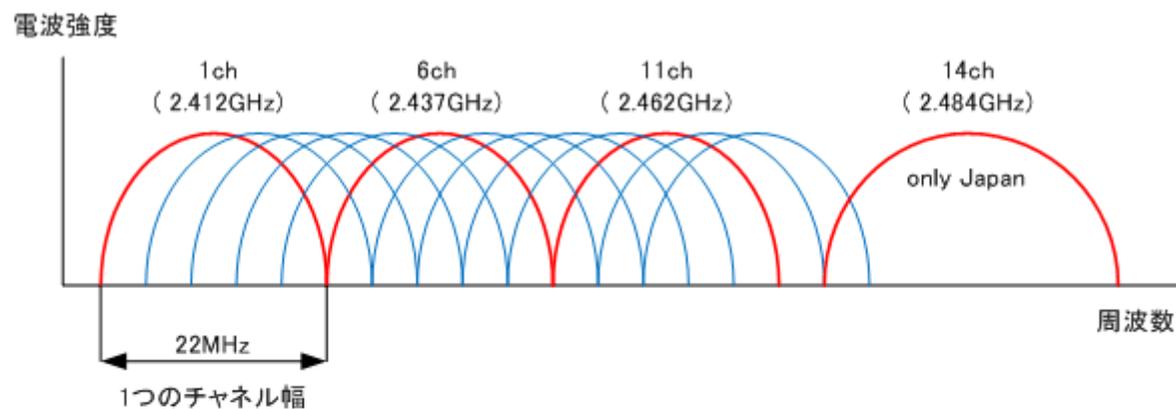
- a. SPA Conditionsデータ入力が必要なチャンネルに適用されます。
- b. Presetキーは機種を選択してから実行して下さい。(押します)
その他、SPLIT, Overlayなどのキーはスペアナ画面のモードが確認できます。
- c. Continuityは連続測定のON/OFFです。(ただし、Meas All だけ動作します)
ONにしてMeas Allを押します。Offは一回の測定サイクルが完了後終了します。

参考1: 組合せ測定の流れ



参考2: WLANの周波数構成 (b, g)

IEEE802.11bのチャンネル配置



IEEE802.11gのチャンネル配置

